

## 「利根川水系鬼怒川河川整備計画（原案）」に対する公聴会

日 時：平成28年1月17日（日）13:40～14:00

会 場：①国土交通省関東地方整備局下館河川事務所

発言者：公述人 4

常総市若宮戸から来ました、■■■<sup>※1</sup>と申します。私は2014年2月半ばからの、自然堤防掘削に関して、地元から異議申立てをした4名ほどの中の一人です。それで、ここにも文書に書いておきましたけれど、3月28日、市役所の方と一緒に国土交通省鎌庭出張所におもむきまして、これを即時提出させてくれという申入れをいたしました。そして、我々地元の間人は非常に危険を感じていると、そういうことを申し上げましたけれど、国土交通省は、話はわかりました、下館の方にすべて伝えます、と。それで伝わったんでしょうかね、何もしてくれませんでした。その後、市議会の方で、非常対策と言いましょか、土のうを積むという発案がありまして、土のうは積んでもらいまして、しかしこの前の話し合いでも申し上げたとおり、ただ砂の上に置いただけで、強度も何も何にもなかったんですよ。水がきた時、もろくも崩れ去りました。そしてこのことの一番の原因は、河川区域ではないということで、何をやってもいいと言う、国土交通省は何もしてくれない。私たちのところは77年間も無堤地区で放置されてきたんです。そしてこの水害を受けました。私はこの水害が、必ず起こることを予測して警告しております。この文章の中にも書いておきました。それで、国土交通省の方とも何回も話し合いをしました。そして、茨城県の副知事さんも高杉市長、常総市の高杉市長と一緒に、霞ヶ関まで築堤の要望に行ってます。これら4回の築堤要望をすべて無視して、9月の10日のあの水害が起こってしまったのです。この原因は何か、単純です。自然堤防を壊したからです。その業者は■■■■■■■■■■<sup>※1</sup>といいます。これはどういう方かと申しますと、■■■<sup>※2</sup>なんです。彼らは■■■<sup>※2</sup>です。■■■■■■■■■■、■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■<sup>※2</sup>。そして驚くことに、彼らは、2ヶ月ほど経った時に、■■■、■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■<sup>※2</sup>、そしてまたソーラーパネルを設置しています。そういうことを、私はその前に国土交通省の霞ヶ関の方に文章を送って非難しております。■■■<sup>※2</sup>と国土交通省は繋がりがああるんじゃないかと、文書で書いて送っております。それに対しておもしろい事がありました。常総市の建設課長が大きな声を上げて怒鳴り込んで来たんです。なぜでしょう。答えは簡単です。■■■<sup>※2</sup>問題を隠したかったんです。私たちのところは水害が起きても、新聞報道が1日しかなされませんでした。なぜか。私が話しに行くと、すべて、新聞記者の人、テレビ局の人は、名刺を置いて、すいません、忙しいです、後で伺います。それで1度も来た事はありません。報道管制なんです。■■■<sup>※2</sup>に対しての報道管制なんです。そして最近知ったことです。驚くことに、市役所の方で■■■<sup>※2</sup>の人には税金を取っていない。そんなふざけた話がありますか、そうして■■■■■■■■■■<sup>※2</sup>を誰もそれを指摘しないんです。国土交通省もそうです。彼らは、2014年の2月から始まったこの工事に対して、河川パトロールをしてないんです。それは見てはまづいから、委託会社の人にそこを通らないように、そうしてたとしか思い至らないのです。なぜ河川をパトロールしないんですか。こんなふざけた話がありますか。それで鎌庭の出張所所長は、3月28日のときに、知りませんでしたと平気な顔して言うんです。どこですかと言うんです。何にも知らない。むしろ■■■■<sup>※2</sup>に加担をしたような、国土交通省じゃありませんか。こんなふざけた国がありますか。ふざけた国土交通省がありますか。こんなひどいことありません。それで私が指摘したとおり、9月の10日に

